

# 日本語教育課程の授業科目及びその内容

阪奈中央リハビリテーション専門学校

日本語科

科目名	授業内容
総合日本語	書くこと、読むこと、聞くこと、話すことを複合的に組み合わせ、日本語能力をバランスよくレベルアップ。初級レベルでは基本的なやり取りができるように学習を進め、日常生活に困らない程度の日本語能力を身につける。初中級・中級以降では、まとまった文の読み書き、講義やニュースを聞き、自身の意見の論理構成を考えながら話すことができる日本語能力を養う。
聴解	レベルに合わせた聴解ストラテジーを習得し、身近な話題だけではなく、テレビのニュースや時事問題の聞き取り練習を行う。ディクテーションを通して、正しく聞き取れる聴解力を身につける。
読解	レベルに合わせた読解ストラテジーを習得し、長文の内容把握と正確な情報の読み取りができるように読解練習を重ねる。幅広い分野の読み物に触れるべく、自主学習をすすめられる教材の提供も行う。
発音	明瞭な発音で話すことができるように口頭練習を行う。様々な発音練習を通して、日本語の拍、高低アクセント、イントネーションなどについての理解を深め、聞き取り能力と発話能力の向上を目指す。
作文	身近な話題から、社会的な話題まで幅広い内容の文章が書けるように練習を行う。読み手にわかりやすい文章にするためにはどうすればいいのか、学習者同士で話し合う活動を設け、自ら考え、書く力を養う。
語彙	基礎漢字を含む漢字の学習、日常生活に関わる語彙、学生の専門分野に関わる語彙の学習を行う。学習した語彙をコミュニケーションの中で正確に使用できるように語彙の活用も練習する。
スピーチ&ディスカッション	自分の考えや調べたことについて、聞き手が共感、納得できるような話ができるように、段階的に練習を行う。様々なテーマでのスピーチや発表、ディスカッションなどを通して、1人で長く話す力を育てる。
一般常識	日本の行事、日本文化、日本人の仕事観や働き方を学び、日本で生活する上でのマナーを身につける。進学や就職に向けて、ワークを通して自己分析を行い、自己理解・他己理解を深め、多様性あふれる社会での生きる力を養う。
介護の日本語	日本の介護現場事情について理解し、介護現場で使用されている語彙やフレーズの学習を行う。ケーススタディやロールプレイを通して、介護現場での実践的なやりとりを習得する。
JLPT 対策	試験前の短期間に対策を行い、短期間で集中的に学習することで、4技能のレベルアップを図る。協働学習を通して、より理解を深められるように授業展開を行う。

## 課程修了者の日本語能力習得状況等

作成年月日：2025年6月6日

日本語教育機関名： 阪奈中央リハビリテーション専門学校

設置者名： 学校法人栗岡学園

課程修了者の日本語能力習得状況等	基準適合性
第44号：大学等への進学者、入管法別表第1の1の表若しくは第1の2の表の上欄の在留資格（外交・公用及び技能実習を除く。）への変更を許可された者及び「日本語教育の参照枠」のA2相当以上と認められる者の合計が、課程修了の認定を受けた者の7割以上	○

基準該当者割合 ②÷(①+③)	100.0%
課程修了者数(※1、※2) ①	28
基準該当者合計数(実人数) ②	28

左記「基準該当者合計数(実人数)」のうち退学者数(44号ただし書き) ③	0
--------------------------------------	---

※1 退学者は含めない。

※2 各年度の課程修了の認定を受けた者が、その修了日までに入管法別表第1の1の表若しくは第1の2の表の上欄の在留資格（外交、公用及び技能実習を除く。）への在留資格変更許可申請をした場合において、当該申請に対する処分が、この号に基づく地方出入国在留管理局への報告までになされないときは、当該者を分母となる課程修了認定者の数に該当する者として加える必要はない。

## 基準該当者の各内訳

	進学2年コース	進学1年6か月コース
※該当する要件が二以上ある生徒は、a～cのそれぞれに計上可。ただし、「基準該当者合計数(上記②)」は実人数を算出するため、当該生徒について重複を除き、一人として扱うこと。	a. 大学等への進学者の数 ※我が国での進学に限り、非正規生は除く。	4
	b. 入管法別表第一の一の表若しくは二の表の上欄の在留資格（外交、公用及び技能実習を除く。）への変更を許可された者の数	8
	c. 「日本語教育の参照枠」のA2相当以上のレベルであることが試験その他の評価方法により証明されている者の数 ※法務省HPに掲載された試験又は日本留学試験に限る。	14
		4
		9
		12

※「日本語教育の参照枠」のA2相当以上のレベルであることが試験その他の評価方法により証明されている者(C)については、「日本語教育の参照枠」のA2相当以上のレベルであることを証明するための書類（試験の合格証等）の写しを本報告書と併せて提出すること。

## 基準該当者合計数(②)及び内訳(a～cのそれぞれの合計)の公表の方法

本校ホームページに掲載。

阪奈中央リハビリテーション専門学校 日本語科

生徒・教員及び職員の数（令和7年5月1日現在）

生徒数

コース	修業年限	入学定員	生徒実員
進学2年コース	2年	15名	28名
進学1年6か月コース	1年6か月	20名	18名
進学1年コース	1年	15名	0名
一般1年コース	1年	15名	0名

教員及び職員数

専任教員数	兼任教員数	職員数
4名	4名	5名